

**都市建設部長**  
 本地域で実行しようとしている農業の産業化が一つのモデル

**議員**  
 常総市を発展させるためには、地域資源の最たるものである農地を生かしていくべきであり、そのためには常総市全体の農業のポトムアップを図る必要がある。そして、農業のポトムアップを図るためにはインターチェンジ周辺を中心拠点とすべきと思うが、農業のポトムアップとアグリサイエンスバレー構想との整合性はとれるのか伺う。

## 農業のポトムアップを

アグリサイエンスバレー構想について



中島 亨一 議員

事業となり、市全体へ波及させることができれば構想の実現に寄与でき、農業のポトムアップにもつながるものと考えている。

**議員**  
 アグリサイエンスバレー構想というのは、常総市の農業をポトムアップするための情報発信基地だと考えるが、アグリサイエンスバレー構想の中のどこで新しい技術や新しい農業のあり方を発信していくのか尋ねる。

### 都市建設部長

アグリサイエンスバレー構想地の中に道の駅建設計画がある。道の駅の看板をもらうには観光などの情報発信基地が必要となるため、情報発信の拠点としての利用を考えている。

**議員**  
 道の駅に反対しているわけではなく、本当に成功させてもらいたい。そのためにはもつと真剣になってほしい。枠だけつけてインターチェンジ周辺地域の開発さえ済めばよいというものではない。農政課と話し合っただけで何が高収益を生み出す作物なのか考え、アグリサイエンスバレー構想を絶対成功させるといふ思いでやらなければならぬ。期待しているのだから、しっかりとお願いする。

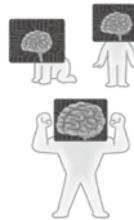
問 質 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 質 質 問

**市長公室長**  
 31年度から5年間の第3次常

**議員**  
 現在、ICT、AIの発達は目覚ましいものがあり、茨城新聞経済懇談会の例会においてもICTやAIを活用し、地方に居る若者を生かすべきという講演を行ったという新聞記事が載っていた。また、最近シンギュラリティという言葉も聞かれるようになった。2045年には人工知能が全人類の知能を超えるといわれている。このような時代背景において、どのような未来創生プランの中で、AIの発達を考慮しその活用を図るという考えはあるか伺う。

## AIの発達

技術的特異点 (シンギュラリティ) について



寺田 洋 議員

総務省が人工知能・ICT分野に関するシンギュラリティ研究会を開いていると聞いた。なくなる職種としては医師、オペレーター、運転業務などがあげられている。アメリカなどでは、コンピューターに仕事を奪われるテクノ失業者が社会問題になっているといわれている。当市にはたくさん工業団地があり、テクノ失業者が生じることで市がダメージを受けることも考えられる。他市に先駆けてAI対策研究を始めてはいいか。

**議員**  
 総務省が人工知能・ICT分野に関するシンギュラリティ研究会を開いていると聞いた。なくなる職種としては医師、オペレーター、運転業務などがあげられている。アメリカなどでは、コンピューターに仕事を奪われるテクノ失業者が社会問題になっているといわれている。当市にはたくさん工業団地があり、テクノ失業者が生じることで市がダメージを受けることも考えられる。他市に先駆けてAI対策研究を始めてはいいか。

### 市長

AIの進化も加速度的に進むと思われる。最先端の情報を得ながら時代の変化に応じた常総市の未来づくりを計画していきたい。



### ※用語説明

- ICT：情報伝達技術
- ITに代わる用語
- AI：人工知能
- IT：情報技術